



「膝が曲げやすい、座りやすい膝ベルト」がついに登場!

膝の名医と老舗医療メーカーが開発した膝ベルト

新しい!

楽にしゃがめる! 座膝ベルト

「膝ベルトを付けると膝が曲げにくい、正座しづらい...」そんな患者様の声をもとに膝の名医、戸田佳孝医師が考案!

「正座・しゃがみ」などがしやすい、日本人の生活様式に合わせて動きやすさを追求した膝ベルト。



パッドなし
屈曲角度約35°

座膝ベルト
屈曲角度約40°

他製品
屈曲角度約45°

巻く型膝ベルトの最大の欠点は、膝を曲げると深いシワができ、皮膚に食い込み痛みが出るところ。この『座膝ベルト』では研究を重ね、横にできるシワをパッドで解消し、膝裏のたるみを穴で解消することに成功いたしました。



「ウレタンパッド」を痛い所に当てて巻くだけ!

『座膝ベルト』の最大の特徴は、厚さ約1センチの小さいウレタンパッド。膝の内側にパッドを当てながら、膝の後ろからグルッと回して面ファスナーで固定します。ボーンは入っていませんし、生地も薄手です。でも膝を曲げるたびにウレタンパッドが膝の内側をギュッと圧迫してくれます。



ウレタンパッドで膝の内側を圧迫!

ウレタンパッドは取り外し可能です。

通気スペースで、夏も涼しく、ムレない!

どこにでもベルトを留められ、サイズ調整がしやすい伸縮素材。



友野様 (74才男性)

2年ほど前に痛みを感じ、それ以来、歩行時や階段の昇り降りなどの時に痛みを感じるようになりました。病院でこのサポーターを紹介され、1日2~3時間つけるようにしています。膝を保護されている安心感と、安定的に動けるようになり大変喜んでます。

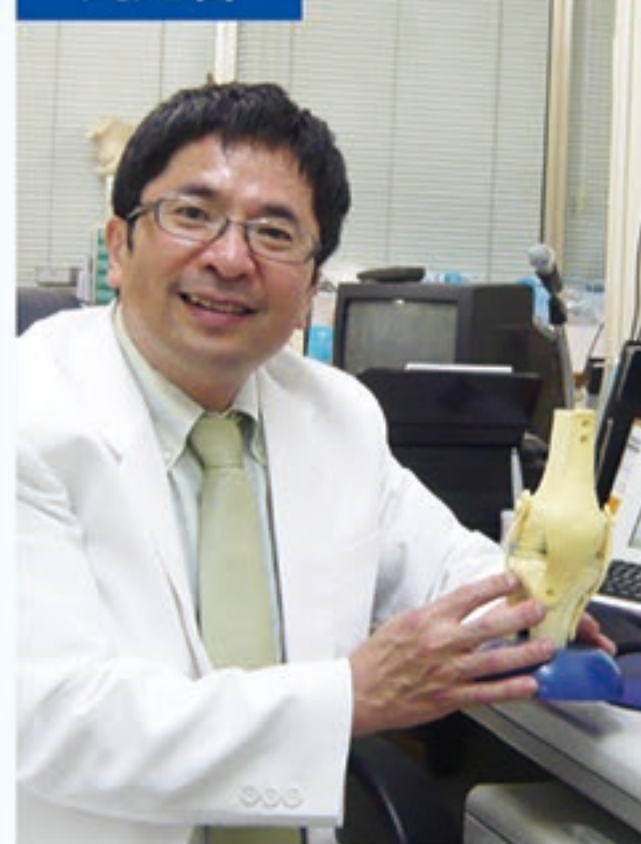
お客様の声

階段を下りる時に特に痛みを感じていましたが、着けている時は膝がすごく安定して、痛みもほとんど感じることがありません。このサポーターは、着けていても非常に動きやすく、嫌な締め付け感も無く、1日中着けていても違和感がほとんどありません。ぜひ、今後も使っていきたいと思っています。



山本様 (59才女性)

開発者

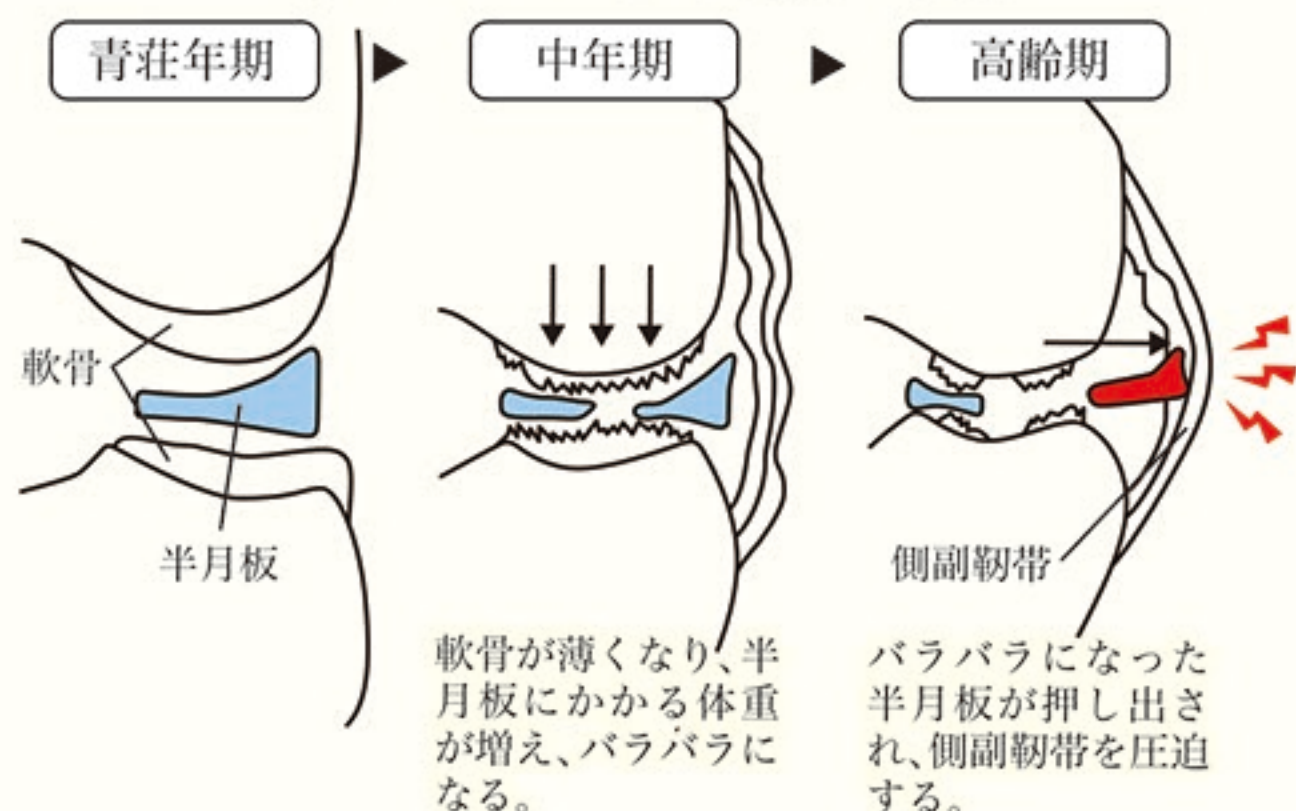


多数のTV出演やベストセラー「9割のひざの痛みは自分で治せる」の著者でもある膝の名医。

医療法人貴晶会
戸田整形外科リウマチ科クリニック理事長兼院長
戸田 佳孝 (とだよしたか) 先生

変形性膝関節症に関する新型足底板の研究で、開業医として史上初となる『日本整形外科学会奨励賞』を受賞。

<年をとるとひざが痛む原因(右足正面図)>



「膝が痛む最大の理由は、膝の骨に挟まっている『半月板』という平べったい軟骨が、年をとると膝を曲げるたびに『ジュジュ』と飛び出して神経を刺激するせいなのです。」

※イメージ図